

○黒部川等大規模氾濫に関する減災対策協議会の取り組みの1つである「**小中学校等における水災害教育の実施**」として、黒部市立たかせ小学校の5年生33名を対象に防災教育を行いました。

- ・日 時：平成31年1月31日（木） 10:35～12:15（3時限目,4時限目）
- ・内 容：**座学**／黒部川の恵み、地形・災害の歴史、雨が降ったら、黒部市防災マップ 等
グループ討議／**洪水時の避難について**「避難する？しない？」「注意することはなに？」



①先生との意見交換／

「年間指導計画（案）」作成に際し、「防災」に関し黒部河川事務所と連携できる部分について意見交換しながら、防災教育に取り組みました。

（H30.12～H31.1にかけて3回打合わせ）



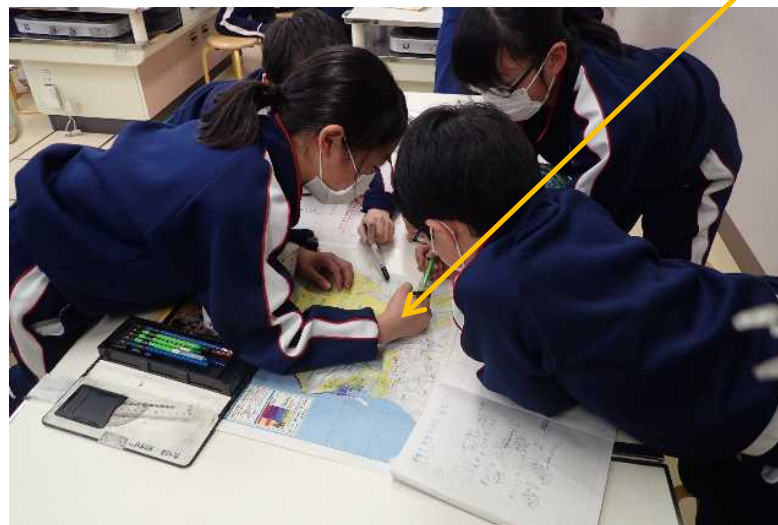
②座学／黒部川のめぐみ、雨がふったら、等

～この地に住まう**作法**を身につける～

災害の恐ろしさばかり強調するのではなく、

郷土の良さを知ってもらいながら

時に起こる自然災害時に身を守る行動について自ら考えてもらう



③グループ討議／

防災マップをみながら「避難する？しない？」「注意することはなに？」

今すぐひなんする まだ、ひなんしない

【理由】

今、浸水しているし、強い雨も降っているのでも、午後からの予報でも、雨が降り、危険になると思うからです。

【その時、注意したいこと 考えたいこと】

道を確認できるようなつえ。氷いせいにあせらず。防災マップを持ちひなんする。かさではなくカッパで安全に。

避難について

「注意すること」として生徒さんから発表された意見

～一部抜粋～

- 道を確認できるようなつえ
- かさではなくカッパで安全に
- あせらず**近くの人**も避難しようと誘いできるだけみんなにしらせて一番目になるようにする
- 近いルート**でいく
- みんなで固まっていく
- 用水路には近づかない
- 川の近くを通らない etc…

④発表／討議内容を班ごとに発表